

令和2年度第3回宮代町観光ビジョン策定検討会議議事録

■日時：令和3年2月4日（水）15時00分～17時00分

■場所：新しい村 村の集会所

■参加者：嶋田知恵子、中嶋庸子、千葉美香、小矢島恒雄、山本豊、小川まなみ、岩岸悟

<事務局>井上課長、野口副課長、山内主査

傍聴者：1名

1 開会

2 会議内容

最終報告書の検討

●観光振興の将来像と目標

中嶋：カウントの方法とかどうなるのか。

町：観光拠点の人数を合計したものの比較をしようかと思っているが、指標が決まっていないので、それも含めて今後考えていきたい。

●推進体制について

小矢島：専門的な組織を運営するためには、専門的な人材が必要である。人材育成は、時間や経費がかかるので業務委託をしたらどうか。

町：専門的な組織をつくるには、町内に限らず企業への業務委託と町内の人材育成の二本立てで考えていきたい。

●観光振興に向けた方針と施策

基本方針1

観光動線（参道）の演出

小矢島：5ページをみると1年間のイベントがたくさんあり、イベントを中心に作っていくのがいいと思う。その中で、商店街を含めて囲んでいく方向でやればこの動線がまとまるのではないかと思う。大きなイベントについては、無理をしてでもつくっていったほうがいい。また、駐車場を整理して大型バスの駐車を促し、その後小型のバスで町内を周回してもよい。

町：イベントカレンダーをまとめ、町外への発信は必要。宮代い～ねでイベントカレンダーを出しているが、将来的には、この地域のイベントカレンダーも作っていきたい。駐車場については、今後考えていかなければならない。

小川：ポスター、チラシ、バナーの件ですが、東武動物公園駅から東武動物公園の間に、東武動物公園さんの企画の情報を商店も巻き込んで発信して

いけるといい。商店では、ホワイトタイガーの模様のビザやサンドイッチなど東武動物公園の町（駅）なんだと認識してもらえる一体感を醸成できるといい。

山本：事業展開例で3つ掲載されているが、以前の会議で提出された検討シートにはもっとたくさんアイデアが示されており、3つでなく5つ6つと掲載したほうが会議でいろいろな意見が出たということを示す意味にもなるだろうと思う。

町：集約はできているが、キーワードとして入れておきたいものがあれば掲載しておきたい。

山本：参道の魅力として、マルシェの開催や桜並木は道路に隣接しているので、入れてほしい。事業展開例③には通りの魅力をもう少し加えたらよいのでは。

基本方針2

宮代ブランドの開発

小矢島：新商品の場合、生産者に集まっていただき、今後の宮代町の新商品のヒアリングをしていただきたい。新しい村で商品面に関してお客様の声を聞いてはどうか。お客様の声であれば根拠は明確なのではないか。

岩岸：ブランディングは他市町との競争になる。町の認証事業で地域が参加できるような仕組みにしていけば地域に根差していけるのではないか。ブラッシュアップできる仕組みが必要。隠れている商品を探し出すこと。

町：参考にして展開していきたい。

基本方針3

岩岸：人材育成は大事なことである。地域によっては視察を有料で受け入れているところがある。将来的には視察事業もいいのではないか。宮代町は立地的にも優位性がある。施設も東武動物公園、新しい村があり、建築でも進修館、笠原小があり、3つの強みがある。他でやっていないことを盛り込んでいけば話題にもなる。お金をとるということになれば受け入れ態勢をきちんとしなければならぬ。そこを目指していけば面白いと思う。

基本方針4

岩岸：ここが肝である。いかにみんなに知ってもらうことが重要である。基本的にプロモーションの手法と拠点をどうするのかを落とし込めればいい。ターゲットを決めながらプロモーション拠点をみつけていかなければ有効性がない。観光イベントで発信していきながら、観光拠点づくりを政策と落とし込めるといいと思う。

小矢島：ユーチューブを利用してお客様の評価を引き出すような動画を作成し

てはどうか。先々は、観光大使も決めてはいかがか。

岩岸：観光拠点（組織）がないと外に出ていけない。現実では、観光協会がないと人的にも予算的にも外に出ていけない。

町：では全体を通して伺いたい。

嶋田：これは、観光ビジョン策定検討委員会でまとめた報告書をもとに町で検討するということでしょうか。

町：観光推進するためにビジョンを作成するにあたり、この報告書を参考にしていこうということ。

嶋田：観光協会となるとかなり組織もしっかりして事業として推進できると思うが、そういう組織を持たないと形になっていかないと思う。そのあたりの検討から始めて、どういう事業をしていくのかが見えてくると思う。商工会としては、事業者が高齢化し、コロナ禍で苦勞している。その辺のテコ入れをしながら活性化につなげていきたいと思っている。強みとしては、個人経営のお店が多いということである。こだわりを持ったお店が多い。そういういいところを商工会としても発信していき、ゆくゆくは観光にもつなげたい。

中嶋：この会議に参加して宮代町は魅力があるし、町民の皆さんも愛着を持ってやられている。しかしながら、リーダーシップをとって仕切っていく方がいないとうまく軌道に乗らない。こういうことから取りまとめていく組織がないと続いていかないのかなと思う。東武動物公園にいらっしゃるお客様は、あとで町内回遊というのは時間ですとか西ゲートに車が止まっているとかで難しい面もある。ゆくゆくは、プランとして回遊してもらうのは必要だと思っている。まずは、年間会員さんが2千人ほどいるので、その方たちはメインが子育て世代なので、農の体験だとか田舎体験に興味がある方だと思うし、近隣から来られているのと思うので、町の魅力を知ってもらうということで東武動物公園のDMで案内するとかはできると考えている。あとは浦和レッズのサッカー教室を教育委員会から東武動物公園でやりたいとの提案をいただいている。杉戸宮代の子供たちを募集して園内で実施することになっている。交流の場所として園内を使っただくということで今後協力できるのではないかと考えている。あとは、新しい村のものや宮代町のを園内で定期的に販売することには協力していきたい。

千葉美：さきほど話のあった東武動物公園さんの年間会員さんは新しい村に足を運んでいただいている。最近の傾向は、若い人が増えていると感じている。先日直売所でアンケートを取らせてもらい、土日に関しては、

天気にもよるが30代の方が多い。滞在時間も買い物の方は15分以内であるのに比べて、そういった若い方は1時間くらい滞在しているという答えが多かった。ネットなどを通じて新しい村を知って訪れた方も多かった。そのため情報発信としてHPやSNSが大切だと思った。また、私は和e輪eの実行委員の一人であり情報発信が必要と会議の中でもあった。そのため忘れられないように更新していき、いいねの数を増やしていきたいと考えている。新しい村を拠点にして東武動物公園や駅に人を向かわせたい。そういった魅力あるイベントをやりたい。

小川：はじめてこういう会議に参加させていただいて宮代町の考え方、東武動物公園さん、新しい村さん、商工会さんといった専門的な団体の皆さんの意見を直に聞いたのは貴重な経験であった。一般町民ですが、ハンドワーク結みやしろとして手作りの作家さんと活動している。観光面に役に立つことが出来ればいい。

山本：SNSの活動をしている。この会議は、私にとっては大変内容の濃いものであった。いろいろ宮代について勉強させていただいたし、魅力も再認識できた。何か貢献できることはないか考えている。

小矢島：最初は、宮代町のこと知らなかった。2年間やっていく中でこの宮代町を歩きながら勉強してきた。宮代町の見方も変わってきた。

岩岸：埼玉県の物産観光協会という立ち位置で参加させていただいた。宮代町の観光のポテンシャルを勉強させていただいた。いろいろ見て回る中で面白いなと感じた。強みがいろいろあるんだけどSWOT分析での表現をもう少しきれいに表現してもらいたい。商工会の嶋田さんがおっしゃっていた個人経営店の飲食店が多いは非常に地域に根差した強みである。強みと弱みは背中合わせのようなものである。強みは伸ばしていけばいい、弱みは克服すればいい。7ページの将来像であるが、キャッチフレーズは非常に大事である。町民みんなが共有できるものが大事だと思う。社会的な観点ではシビックプライドなども観光計画には落とし込まれるケースが多いものである。そのあたりを考慮して作成いただければと思う。目標の考え方だが、やはり定点観測やパラメーターなどを利用してもらいたい。最終的には、観光協会は必要だと思う。町を代表する組織があれば外へ打って出ることできるし、いろいろな情報発信も定期的に行える。地域交流もできているし、まさにオール宮代で市民の参加率は高いのではと思う。検討シートで出てきたことも落とし込んでもらえるとみんながやった成果としていいのではないかな。

町：この最後の報告書は、町が今後ビジョンを策定する場合、ひとつのたたき

台とする。これを作るまでの経緯は参考資料としてまとめたいと思う。

3 閉会